

第3回トークセッション 《市民社会を強くする》

メディアの役割

原発、ヘイトスピーチ、公共・公営放送、政治・議会…、から見えてくるそのあり方を探る

▶ゲスト



津田 大介

ジャーナリスト／メディア・アクティビスト

「ポリタス」編集長。1973年生まれ。東京都出身。早稲田大学社会科学部卒。大阪経済大学客員教授。京都造形芸術大学客員教授。一般社団法人インターネットユーザー協会(MIAU)代表理事。テレビ、ラジオなどのキャスター、パーソナリティなどの他、ソーシャルメディアを利用した新しいジャーナリズムをさまざまな形で実践。



明珍 美紀

毎日新聞記者

北海道報道部、社会部多摩総局長などを経て現在、水と緑の地球環境本部委員兼社会部。2003～04年、新聞労連初の女性委員長。主に平和や環境問題などを取材。共著に「検証 日韓報道」(大村書店)、「がんには負けない」(毎日新聞社)など。

▶進行

大河原 雅子

リベラル市民政治研究所代表／前参議院議員

東京・生活者ネットワーク都議会議員、参議院議員としてこどもや女性の問題に取り組み、リベラル市民政治研究所を設立。



当日は、
スペシャルゲストの
登場も!?

2014
11.22 土 14:00~
16:00

@TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 3F
ホール 3B

新宿区市谷八幡町8 TKP市ヶ谷ビル
JR・東京メトロ 南北線、有楽町線、
都営新宿線 市ヶ谷駅 徒歩1~2分

▶参加費

一般 1,500円
学生等 1,000円

▶定員◎150名

▶主催・共催

市民がつくる政策調査会／リベラル市民政治研究所

TEL 03-5226-8843 FAX 03-6661-8325

e-mail shimin@c-poli.org URL <http://www.c-poli.org/>



国家安全保障会議（日本版 NSC）設置、特定秘密保護法、集団的自衛権の行使容認、原発再稼働・輸出、教育制度の改革、NHK 人事、など、現政権により国家を強くするための政策が推し進められています。

また、市民活動の現場では、国民投票、住民投票といった市民による政策決定への直接関与、脱原発や特定秘密保護法廃案のためのデモや集会など、多くの市民が声をあげ、行動しています。

このような状況のもと、各分野で様々な活動に取り組む方々をゲストに、多様なテーマで自由に討論していただき、市民社会を強くするための方策について考える機会とし、今回は「メディア」について様々な角度（テーマ）からおはなしいたします。

「市民がつくる政策調査会」とは	1997 年発足。市民生活・市民社会に存在する、様々な政策課題について、当事者・団体の方々と協力のもとに、その解決に向けた取り組みを進めています。プロジェクト、円卓会議、フォーラムの開催などのほか、市民自治の再構築をと、市民自治講座の開講やトークセッションの開催などを行っています。随時、会員募集中。詳細は、HP をご覧ください。URL http://www.c-poli.org/
「リベラル市民政治研究所」とは	オセロゲームのような政党政治に翻弄されることなく、再びの政権交代の羅針盤となる市民の結集軸をつくるため、2014 年に設立した研究所です。人権・平和・環境・福祉・教育・人間らしい経済と働き方、そして原発ゼロ社会の実現を目指して、多くの市民と連帯、協働し、活動しています。

* 参加費は、当日受付にてお願いいたします。

主催・共催 市民がつくる政策調査会／リベラル市民政治研究所

〒 102-0072 千代田区飯田橋 1-8-9 ニューシティハイツ飯田橋 401

TEL 03-5226-8843/FAX 03-6661-8325

参加申込み

FAX : 03-6661-8325

e-mail : shimin@c-poli.org

お名前	
ご住所	〒
電話番号	
メールアドレス	